令和6年度 児童館年間利用数

田中児童館

令和5年度							令和6年度					
学年	学童登録人数	延長保育					学童登録人数	延長保育				
		17時～18時		18時～19時				17時～18時		18時～19時		
1年	38	名	8	名	9	名	36	名	6	名	4	名
2年	29	名	8	名	4	名	38	名	9	名	4	名
3年	26	名	4	名	4	名	26	名	5	名	1	名
4年	27	名	0	名	5	名	16	名	0	名	3	名
5年	10	名	2	名	1	名	18	名	0	名	1	名
6年	6	名	0	名	1	名	6	名	2	名	0	名
合計	136	名	22	名	24	名	140	名	22	名	13	名

自由来館者数													
令和5年度							令和6年度						
幼児	小学生		中高生	大人	その他	合計	幼児	小学生		中高生	大人	その他	合計
	1～3	4～6						1～3	4～6				
2108	333	310	24	5791	902	9,468	1932	411	285	57	4387	462	7,534

学童年間利用数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度	1622	1491	1503	1563	1529	1283	1282	1179	1330	1128	991	1310	16211
6年度	1815	1497	1447	1881	1513	1411	1536	1297	1478	1264	1169	1445	17753

ヒヤリハット　A（危険度重）B（危険度中）C（危険度軽）	事故報告　（受診を要した件数）	要望・意見・苦情　報告
A：　6　件　　B：　7　件　　C：　10　件	0　件	要望：　4　件　　意見：　0　件　　苦情：　0　件

方基法針本人	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善（A）
サービスの質の向上	子育て支援の強化	・インスタグラム活用による地域の方への情報配信と利用促進 ・乳幼児親子が過ごしやすい環境作り ・子育てチーフアドバイザーを配置し、常時、子育て相談に応じる ・親がリフレッシュできる場を提供する	・インスタグラムに行事や広場の様子を積極的に掲載する ・行事のお知らせ等を随時配信する ・常勤の子育てチーフアドバイザーを配置し、地域の方に周知する ・保護者向けカフェタイムを実施する（子どものあそびの見守り有）	・インスタグラムを見ての来館者も多くなり、フォロワーも300人を超えた ・児童館に子育てチーフアドバイザーがいるという認識が広がっていない ・カフェタイムなどの行事により保護者同士の交流の場ができ、盛況であった	・インスタグラムへの積極的な掲載を継続し、来館者が増えるように努める ・子育てチーフアドバイザーの存在をアピールし、気軽に相談できる環境づくりを行う ・父親や平日仕事をしている方が利用できるように、土曜日のカフェタイム等を企画する
	児童育成の拡充	・幅広い年齢の児童が楽しめるよう行事内容を工夫する ・異学年交流を積極的に取り入れる ・児童が主体となり行事を実施する ・継続的な行事を取り入れる ・集団を活かし、向上心を育む行事を実施する ・児童の意見を反映する取り組みを実施 ・保護者会、個別懇談（随時）	・夏まつり、ハロウィン行事、クリスマス会を実施 ・インスタグラムで行事のお知らせや活動の様子を配信する ・児童の意見を取り入れるアンケートを実施し、反映させる ・保護者会を実施（年1回） ・個別懇談を実施（随時） ・こどもの居場所づくり事業（毎月）	・夏まつり等の行事は、高学年の児童が主体となって計画、準備し、意欲的に取り組んでいた ・夏まつり中はかなり野外のブースが暑く、安全のために時期の再考も必要 ・児童へのアンケートや選挙を実施し、やってみたいこと、購入してほしいものなどの意見を反映することができた ・居場所づくりの実施方法を見直したことにより、参加者が増えた	・今後も児童が主体となり、行事の計画、準備を行い、楽しめるようにしていく ・児童の安全を第一に考え、固定概念にとらわれずに行事の実施時期や内容を検討する ・引き続き、児童の意見を積極的に反映できるように、アンケートやこども会議を実施する ・行事予定やあそびの様子をインスタグラムで配信し、保護者と共有できるようにする
地域との共生	地域との連携	・地域ボランティアの多様な活動を活かし、児童育成を行う ・地域とのつながりを活かした行事を開催する ・小中学校の体験学習、実習生を受け入れる ・地域との連携を強化する	・地域ボランティアによる行事を実施（科学、工作、英語、おはなし会など） ・地域の各団体と積極的に交流する（本山西ふれあいのまちづくり協議会、主任児童委員、民生委員など） ・トライやるウィーク、ワークキャンプ実習生を受け入れる	・様々な地域ボランティアにより、親子館事業、学童保育とも豊かな体験を取り入れることができた ・たなカフェにて、主任児童委員と民生委員による託児を実施し、地域と連携した子育て支援が実現できている ・トライやるウィークなど小中学校からの依頼を複数受け、交流ができた	・地域とのつながりを活かした行事を継続し、児童館と地域と協力して子育て支援を行っていく ・体験学習、トライやるウィークなど積極的に受け入れて、地域に貢献する ・これまで児童館の取り組みに関わっていなかった地域団体（婦人会など）にも子育て支援の協力をお願いしていく
	年間利用数	・放課後児童クラブ年間利用者予定数（20,000名） ・自由来館年間利用者予定数（9,000名）	・放課後児童クラブ年間利用者数（17,753名） ・自由来館年間利用者数（7,534名）	・放課後児童クラブの登録児童数は毎年10%程度増加している ・放課後児童クラブの1日当たりの利用者数は、登録者児童数の60%程度 ・長期休暇中に、乳幼児親子は児童館をほとんど利用することができていない	・放課後児童クラブの登録者数が年々増加し、面積基準を超えてしまうこともあるため、中学校の教室や校庭の利用を検討していく ・夏休み等の長期休暇中に、乳幼児親子が児童館を利用できるように、放課後児童クラブが小学校の体育館等を利用できるように交渉を行い、実施する（週1回程度）